平成 25 年 10 月 31 日

各　　位

会 社 名　株 式 会 社　フ　コ　ク
代 表 者　代表取締役社長　河本　次郎
（コード番号　5185　東証第１部）
問合せ先　執行役員財務部長　木村　尚
（TEL　　048-615-1700　）

平成 26 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間における業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ

平成 25 年 5 月 15 日に公表いたしました平成 26 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）の業績予想値と本日公表の決算において差異が生じましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想値と実績値との差異

平成 26 年 3 月期　第 2 四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異

（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）　（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
前回発表予想（A）	30,000	1,300	1,400	1,100	63 円 95 銭
実績値（B）	31,139	1,505	1,825	1,400	81 円 40 銭
増減額（B－A）	1,139	205	425	300	－
増減率（%）	3.8%	15.8%	30.4%	27.3%	－
（ご参考）前期第 2 四半期実績（平成 25 年 3 月期第 2 四半期）	29,558	1,923	1,861	1,199	69 円 84 銭

差異の理由

当第２四半期連結累計期間における我が国経済は、昨年末以来のアベノミクス効果によって消費者マインドも上向き、国内需要や輸出が持ち直すなど、景気回復の底堅さが感じられました。当社グループの主要顧客先である自動車産業におきましては、新興国や北米などの旺盛な需要に対応するため、世界中の主要メーカーが最適地生産および為替変動等に配慮したグローバル戦略を推進している中で、日系メーカーの業績が大きく好転してきました。

このような状況下、当社グループの受注は概ね順調に推移し、平成 25 年 5 月 15 日に公表した平成 26 年３月期 第２四半期連結累計期間業績予想に対し、売上高、利益とも上回りましたので、上記の通りお知らせいたします。

なお、平成 26 年３月期 通期の連結業績予想につきましては、平成 25 年 5 月 15 日に公表した業績予想を修正しておりません。

＊上記の予想は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、上記予想と異なる可能性があります。

以上